

『臨床作業療法 NOVA』第20巻（2023年）のご案内

（特集タイトルは、都合により変更があることをご了承ください）

Platinum TEXT Library !!

◇書籍のMOOKをしのぐ充実した内容!!

1号 = 1テーマ、毎号が保存版

1号 「認知症の人の生活と作業療法」 春号（20巻春号）

認知症の人が抱える生活課題とどのように向き合うかを示すために、生活支援を2つの方向から紹介する。ひとつは、認知機能障害や環境要因に影響を受ける認知症者の「生活障害」に対する支援をターゲットにする。もうひとつは、認知症者が生活を営む上で不可欠な「社会参加」支援である。この「生活障害」と「社会参加」を支援するための作業療法士の実践や方法を中心に、認知症の作業療法における生活支援について解説する。

編集：谷川良博（令和健康科学大学リハビリテーション学部）

2号 「脳卒中人生を生ききる勇者たちと作業療法」 夏号（20巻夏号）

長いスパンで脳卒中になった時に、それからの身体、生活などがどうなっていくのかを少しでも明らかにしておくことは、当事者、家族、若い作業療法士・理学療法士・言語聴覚士にとって意味がある。本書は、院内で脳卒中教育の一環で退院した脳卒中者と呼んで、機能が良くなってきたのか、どのような生活を展開しているのか、どのような人生を歩んでいるのかを詳述し、セラピストが経験値を増やす機会になることを目的とする。

編集：澤 俊二（岐阜保健大学リハビリテーション学部）

3号 「難治性精神疾患と作業療法」 秋号（20巻秋号）

精神科治療において“完治”という終結を迎えられる患者は、どの程度であろうか。精神疾患は再発率が高く、なかなか治らない病であり、一生の付き合いになる事例も多い。また、完治には至らなくとも、何をもって寛解、回復となるのかについても考え方は様々である。本書では、難治性精神疾患に着目し、臨床疑問を紐解くための作業療法評価と治療および支援のあり方を丁寧に解説した。本書が作業療法士だけではなく、精神科に携わるすべての方々の一助となることを期待する。

編集：早坂友成（杏林大学 保健学部）

4号 「MTDLPに基づく作業療法参加型臨床実習」 冬号（20巻冬号）

作業療法士の育成のための臨床実習は、最も重要な初期の臨床教育である。診療参加型臨床実習（クリニカルクラークシップ）に準じた臨床実習を行うように指定規則が改定され、厚労省指定臨床実習指導者講習会が行われているが、現場では混乱が続いている。生活行為向上マネジメント（MTDLP）は、作業療法の目的である対象者が価値をおく生活行為の可能化を導くツールであり、養成教育や臨床実習での定着が促進されている。作業療法参加型臨床実習でのMTDLPの活用について解説する。

編集：小林幸治（目白大学保健医療学部）

- ◎判型 B5、規模 130～160 ページ、 1部定価 2,750 円（本体 2,500 円）
年間購読料 定価 11,000 円（本体 10,000 円）、
◎発行 春号（3月）、夏号（6月）、秋号（9月）、冬号（12月）
（各号 15 日発行、年 4 回）

シリーズ案内（保存版バックナンバー）

【19 巻】 各タイトル（保存版バックナンバー）

1. 記憶障害と作業療法 エッセンシャル・ガイド ◆鈴木孝治
2. 摂食嚥下障害の作業療法 評価ガイド ◆神作一実・塚田 徹
3. 作業療法と臨床判断 ◆仲齋藤佑樹・丸山 祥・藤本一博
4. 作業療法のエビデンス（EBO） ◆竹林 崇

【18 巻】 各タイトル（保存版バックナンバー）

1. 「当事者」と作業療法 ◆田島明子
2. 摂食嚥下障害の作業療法—基本と臨床へのアプローチ ◆百田貴洋
3. 学校作業療法 実践ガイド ◆仲間知穂・友利幸之介
4. 認知症の作業療法 観察ガイド ◆谷川良博

【17 巻】 各タイトル（保存版バックナンバー）

1. 作業療法マネジメント ◆太田睦美・土井勝幸
2. 作業療法と目標設定 ◆齋藤佑樹
3. イラストでわかる 生活動作と読み書き支援 ◆鴨下賢一
4. 作業のもつ力を活かす作業療法 ◆小林幸治